

参議院選挙をチャンスに



診療の合間に、待合室に張ったポスターを前に患者さんと参院選について話す竹田さん

岐阜協会会長の竹田智雄さんは、10月に実施が予定される75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求めて活動している。参院選を医療を重視する政治をつくるチャンスにしようと、患者さんに「選挙にいろいろ」と訴えている。取り組みを聞いた。

私の診療所では、保団連が「選挙にいろいろ」キャンペーンで作成したポスターやリーフレットを使って、患者さんに訴えています。

訴えるといっても、特別に身構える必要はありません。ポスターを待合室に張ったり、リーフレットを目に付くところに置いておく、それだけで十分です。たくさんの方の医療機関に取り組みが広がってほしいです。

リーフレットの良いところは、2割化に反対している政党名が書いてあることです。患者さんとお話するタイミングがあれば、「参院選の比例で

は、負担増に反対している政党に投票してほしい、家族にもそのように伝えてほしい」とお伝えしています。

「負担増、知らなかった」

75歳以上の医療費窓口負担2割化が10月から実施が予定されていることを患者さんに伝えると、10人中9人は「知らなかった」と驚かれます。窓口負担増で受診抑制が起これば、重症化や手遅れにつながるかねない、と、医師としての気持ちを伝えると、「反対しなければならぬですね」と賛同してくれま